

<課題 I> 「内視鏡を固定できる器具」

- ・消化器内科では胃や食道、大腸などの消化管や胆管、膵臓などの検査・治療を様々な内視鏡を用いて行っています。
 - ・内視鏡の操作は主にメインの術者一人で行われます。内視鏡の基本姿勢は図のように左手で内視鏡のダイヤル部を持ち右手でシャフト部を持ちます（図 1）。
 - ・しかし、生検やポリープの切除などの「処置」を行う際には細長い器具を鉗子チャンネルから右手で挿入し、更に操作する必要があります(図 2)。
 - ・この間は右手がシャフト部から離さなくてはならず、内視鏡が抜けたり・回ってしまうことがあります。
 - ・臨床現場ではこのような際は介助者(別の医師や看護師)に代わりにシャフト部を保持してもらうことで対処しています(図 3)。
 - ・募集するデザイン・アイデアは、介助者の代わりとなる「内視鏡を固定する器具」となります。
 - ・要望としては、
 - ①固定・解除が簡単でスムーズにできること
 - ②通常の操作の際に邪魔にならないこと
 - ③丈夫で洗浄が可能であること
- 以上、3点の機能を備えていることが望ましいです。

